

07

適度に体を動かそう



外出を控えていると運動不足になりがち。家でもできる簡単な体操などを取り入れよう。

05

バランスの良い食事を



感染症予防のカギは免疫力。色々な食材をよく噛んで楽しみながら食べましょう。

03

あちこち利き手でさわらない



利き手では、ついつい顔をさわりがち。ウイルスを持ちこまないための意識をしよう。

01

こまめに手を洗おう



帰宅直後や食事の前には手を洗う意識づけを。指の間や手首までキチンと洗うのが理想です。

いつかくる「次」に、今日から備えよう。



08

風邪かな? と思ったら休もう



自分の健康はもちろん、周囲にうつさないためにも、休む勇気を持つことが大切です。

06

しっかり寝よう



睡眠不足は、免疫力低下につながります。睡眠時間はしっかりと確保しましょう。

04

咳エチケット



マスクがないときにはティッシュ。とっさの場合には袖で口をおおい、飛沫を防ぎましょう。

02

目・鼻・口をさわらない



目の粘膜からもウイルスは侵入します。むやみに、手で顔をさわらないよう、気を付けて。

正しい予防の知識をそなえよう。

新型コロナウイルスについて、一人ひとりができる予防策をまとめました。連日、不安になってしまっている情報が飛び交う今だからこそ、「うつらない・うつさない」ための対策を知り、適切な判断をしていくことが大切です。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている

【札幌市保健所】 感染疑いのある人は：011-272-7119 (#7119) / 一般相談は：011-632-4567

【小樽市保健所】 0134-22-3110 【江別保健所】 011-383-2111 【千歳保健所】 0123-23-3175

・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

【倶知安保健所】 0136-23-1914 【岩内保健所】 0135-62-1537 【岩見沢保健所】 0126-20-0100

【滝川保健所】 0125-24-6201 【室蘭保健所】 0143-24-9833 【苫小牧保健所】 0144-34-4168

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

【浦河保健所】 0146-22-3071 【静内保健所】 0146-42-0251

企画制作：北海道新聞社営業局 / 企画・編集：+ソナエ・プロジェクト
「+ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

私たちは心臓の治療を続けています。



医療法人札幌ハートセンター 理事長兼 CMO 藤田 勉

当院では、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のルールを整備しました。患者様にはこれまでと同様に、診察・検査・治療を受けていただける準備がございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことがあれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810

医療法人 札幌ハートセンター

07

適度に体を動かそう



外出を控えていると運動不足になりがち。家でもできる簡単な体操などを取り入れよう。

05

バランスの良い食事を



感染症予防のカギは免疫力。色々な食材をよく噛んで楽しみながら食べましょう。

03

あちこち利き手でさわらない



利き手では、ついつい顔をさわりがち。ウイルスを持ちこまないための意識をしよう。

01

こまめに手を洗おう



帰宅直後や食事の前には手を洗う意識づけを。指の間や手首までキチンと洗うのが理想です。

いつかくる「次」に、今日から備えよう。



08

風邪かな? と思ったら休もう



自分の健康はもちろん、周囲にうつさないためにも、休む勇気を持つことが大切です。

06

しっかり寝よう



睡眠不足は、免疫力低下につながります。睡眠時間はしっかりと確保しましょう。

04

咳エチケット



マスクがないときにはティッシュ。とっさの場合には袖で口をおおい、飛沫を防ぎましょう。

02

目・鼻・口をさわらない



目の粘膜からもウイルスは侵入します。むやみに、手で顔をさわらないよう、気を付けて。

正しい予防の知識をそなえよう。
新型コロナウイルスについて、一人ひとりができる予防策をまとめました。連日、不安になってしまいうような情報が飛び交う今だからこそ、「うつらない・うつさない」ための対策を知り、適切な判断をしていくことが大切です。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

- ・風邪の症状や**37.5℃**以上の発熱が**4日以上**続いている
 - ・強いだるさ(倦怠感)や**息苦しさ**(呼吸困難)がある
 - ※**高齢者**や**基礎疾患**等のある方は、上の状態が**2日程度**続く場合
- 【市立函館保健所】0138-32-1547
【渡島保健所】0138-47-9524
【八雲保健所】0137-63-2168
【江差保健所】0139-52-1053

企画制作:北海道新聞社営業局/企画・編集:ソナエ・プロジェクト
「ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

私たちは心臓の治療を続けています。



当院では、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のルールを整備しました。患者様にはこれまでと同様に、診察・検査・治療を受けていただける準備がございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことがあれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810



07

適度に体を動かそう



外出を控えていると運動不足になりがち。家でもできる簡単な体操などを取り入れよう。

05

バランスの良い食事を



感染症予防のカギは免疫力。色々な食材をよく噛んで楽しみながら食べましょう。

03

あちこち利き手でさわらない



利き手では、ついつい顔をさわりがち。ウイルスを持ちこまないための意識をしよう。

01

こまめに手を洗おう



帰宅直後や食事の前には手を洗う意識づけを。指の間や手首までキチンと洗うのが理想です。

いつかくる「次」に、今日から備えよう。



08

風邪かな? と思ったら休もう



自分の健康はもちろん、周囲にうつさないためにも、休む勇気を持つことが大切です。

06

しっかり寝よう



睡眠不足は、免疫力低下につながります。睡眠時間はしっかりと確保しましょう。

04

咳エチケット



マスクがないときにはティッシュ。とっさの場合には袖で口をおおい、飛沫を防ぎましょう。

02

目・鼻・口をさわらない



目の粘膜からもウイルスは侵入します。むやみに、手で顔をさわらないよう、気を付けて。

正しい予防の知識をそなえよう。

新型コロナウイルスについて、一人ひとりができる予防策をまとめました。連日、不安になってしまいうような情報が飛び交う今だからこそ、「うつらない・うつさない」ための対策を知り、適切な判断をしていくことが大切です。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている

【旭川市保健所】 感染疑いのある人は：0166-25-9848 / 一般相談は：0166-26-2397

・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

【深川保健所】0164-22-1421 【上川保健所】0166-46-5979 【名寄保健所】01654-3-3121

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

【富良野保健所】0167-23-3161 【留萌保健所】0164-42-8310 【稚内保健所】0162-33-2538

【網走保健所】0152-41-0683 【北見保健所】0157-24-4171 【紋別保健所】0158-23-3108

企画制作：北海道新聞社営業局/企画・編集：+ソナエ・プロジェクト
「+ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

私たちは心臓の治療を続けています。



当院では、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のルールを整備しました。患者様にはこれまでと同様に、診察・検査・治療を受けていただける準備がございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことがあれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810

医療法人 札幌ハートセンター

07 適度に体を動かそう



外出を控えていると運動不足になりがち。家でもできる簡単な体操などを取り入れよう。

05 バランスの良い食事を



感染症予防のカギは免疫力。色々な食材をよく噛んで楽しみながら食べましょう。

03 あちこち利き手でさわらない



利き手では、ついつい顔をさわりがち。ウイルスを持ちこまないための意識をしよう。

01 こまめに手を洗おう



帰宅直後や食事の前には手を洗う意識づけを。指の間や手首までキチンと洗うのが理想です。

いつかくる「次」に、今日から備えよう。



08 風邪かな? と思ったら休もう



自分の健康はもちろん、周囲にうつさないためにも、休む勇気を持つことが大切です。

06 しっかり寝よう



睡眠不足は、免疫力低下につながります。睡眠時間はしっかりと確保しましょう。

04 咳エチケット



マスクがないときにはティッシュ。とっさの場合には袖で口をおおい、飛沫を防ぎましょう。

02 目・鼻・口をさわらない



目の粘膜からもウイルスは侵入します。むやみに、手で顔をさわらないよう、気を付けて。

正しい予防の知識をそなえよう。

新型コロナウイルスについて、一人ひとりができる予防策をまとめました。連日、不安になってしまいうような情報が飛び交う今だからこそ、「うつらない・うつさない」ための対策を知り、適切な判断をしていくことが大切です。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている

【帯広保健所】0155-27-8634

・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

【釧路保健所】0154-65-5811

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

【根室保健所】0153-23-5161

【中標津保健所】0153-72-2168

企画制作:北海道新聞社営業局/企画・編集:ソナエプロジェクト
「ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

私たちは心臓の治療を続けています。



医療法人札幌ハートセンター 理事長兼 CMO 藤田 勉

当院では、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のルールを整備しました。患者様にはこれまでと同様に、診察・検査・治療を受けていただける準備がございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことがあれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810



医療法人 札幌ハートセンター



いま、一人ひとりが
できること。

毎日、大変な状況が続くなか、
医療関係者の方々をはじめ
流通や小売り業に関わる方々など
沢山の人がそれぞれの場所で
力を尽くしてくださっています。

GWを迎え、行きたい場所や会いたい人の
顔がどうしても浮かんでしまいますが、
また、みんなが元気な姿で会えるように。
今は、私たち一人ひとりが、感染拡大
防止に取り組んでいきましょう。

企画制作:北海道新聞社営業局/企画・編集:+ソナエ・プロジェクト
「+ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、
2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

おうちの中では

01 換気は1時間に2回程度



換気をこまめに行いましょう。2方向の窓や
ドアを数分間全開にして、風の流れを
つくるのがポイントです。

02 ゴミには直接触れないように



使用後のマスクやティッシュのゴミは
ビニールにしっかりとまとめ、作業の後
には手を洗いましょう。

03 オンラインで会いましょう



帰省や大切な人との会話は、ビデオ通話
を活用してみましょう。会えない今こそ、
こまめに連絡をとってみて。

外に出る場合は

01 人との距離をしっかりとる



人と人の距離を2m以上あけるように
意識しましょう。レジ前の列なども注意が
必要です。

02 引き続きマスクの着用を



会話をするときにはマスクをつけて。また、
電車やエレベータ内での会話はなるべく
慎みましょう。

03 運動中も飛沫感染を防ぐ



散歩やジョギングの際にも人との距離を
十分にとり、マスクなど飛沫感染を防ぐ
ものを着用しましょう。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

- 【札幌市保健所】感染疑いのある人は：011-272-7119(＃7119) / 一般相談は：011-632-4567
- 【小樽市保健所】0134-22-3110 【江別保健所】011-383-2111 【千歳保健所】0123-23-3175
- 【倶知安保健所】0136-23-1914 【岩内保健所】0135-62-1537 【岩見沢保健所】0126-20-0100
- 【滝川保健所】0125-24-6201 【室蘭保健所】0143-24-9833 【苫小牧保健所】0144-34-4168
- 【浦河保健所】0146-22-3071 【静内保健所】0146-42-0251

移動後、健康の不安を感じた方は「来道者・帰省者・転勤者相談ダイヤル」011-206-6115

私たちは心臓の治療を 続けています。



当院では、新型コロナウイルス感染症の
院内感染防止のルールを整備しました。
患者様にはこれまでと同様に、診察・
検査・治療を受けていただける準備が
ございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことが
あれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し 続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810

医療法人 札幌ハートセンター
札幌心臓血管クリニック
札幌市東区北49条東16丁目



いま、一人ひとりが
できること。

毎日、大変な状況が続くなか、
医療関係者の方々をはじめ
流通や小売り業に関わる方々など
沢山の人がそれぞれの場所で
力を尽くしてくださっています。

GWを迎え、行きたい場所や会いたい人の
顔がどうしても浮かんでしまいますが、
また、みんなが元気な姿で会えるように。
今は、私たち一人ひとりが、感染拡大
防止に取り組んでいきましょう。

企画制作:北海道新聞社営業局/企画・編集:+ソナエ・プロジェクト
「+ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、
2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

おうちの中では

01 換気は1時間に2回程度



換気をこまめに行いましょう。2方向の窓や
ドアを数分間全開にして、風の流れを
つくるのがポイントです。

02 ゴミには直接触れないように



使用後のマスクやティッシュのゴミは
ビニールにしっかりとまとめ、作業の後
には手を洗いましょう。

03 オンラインで会いましょう



帰省や大切な人との会話は、ビデオ通話
を活用してみましょう。会えない今こそ、
こまめに連絡をとってみて。

外に出る場合は

01 人との距離をしっかりとる



人と人の距離を2m以上あけるように
意識しましょう。レジ前の列なども注意が
必要です。

02 引き続きマスクの着用を



会話をするときにはマスクをつけて。また、
電車やエレベータ内での会話はなるべく
慎みましょう。

03 運動中も飛沫感染を防ぐ



散歩やジョギングの際にも人との距離を
十分にとり、マスクなど飛沫感染を防ぐ
ものを着用しましょう。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

- 【市立函館保健所】0138-32-1547
- 【渡島保健所】0138-47-9524
- 【八雲保健所】0137-63-2168
- 【江差保健所】0139-52-1053

移動後、健康の不安を感じた方は「来道者・帰省者・転勤者相談ダイヤル」011-206-6115

私たちは心臓の治療を 続けています。



当院では、新型コロナウイルス感染症の
院内感染防止のルールを整備しました。
患者様にはこれまでと同様に、診察・
検査・治療を受けていただける準備が
ございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことが
あれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し 続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810

医療法人 札幌ハートセンター
札幌心臓血管クリニック
札幌市東区北49条東16丁目



いま、一人ひとりが
できること。

毎日、大変な状況が続くなか、
医療関係者の方々をはじめ
流通や小売り業に関わる方々など
沢山の人がそれぞれの場所で
力を尽くしてくださっています。

GWを迎え、行きたい場所や会いたい人の
顔がどうしても浮かんでしまいますが、
また、みんなが元気な姿で会えるように。
今は、私たち一人ひとりが、感染拡大
防止に取り組んでいきましょう。

企画制作：北海道新聞社営業局／企画・編集：+ソナエ・プロジェクト
「+ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、
2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

おうちの中では

01 換気は1時間に2回程度



換気をこまめに行いましょう。2方向の窓や
ドアを数分間全開にして、風の流れを
つくるのがポイントです。

02 ゴミには直接触れないように



使用後のマスクやティッシュのゴミは
ビニールにしっかりとまとめ、作業の後
には手を洗いましょう。

03 オンラインで会いましょう



帰省や大切な人との会話は、ビデオ通話
を活用してみましょう。会えない今こそ、
こまめに連絡をとってみて。

外に出る場合は

01 人との距離をしっかりとる



人と人の距離を2m以上あけるように
意識しましょう。レジ前の列なども注意が
必要です。

02 引き続きマスクの着用を



会話をするときにはマスクをつけて。また、
電車やエレベータ内での会話はなるべく
慎みましょう。

03 運動中も飛沫感染を防ぐ



散歩やジョギングの際にも人との距離を
十分にとり、マスクなど飛沫感染を防ぐ
ものを着用しましょう。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

- 【旭川市保健所】感染疑いのある人は：0166-25-9848 / 一般相談は：0166-26-2397
- 【深川保健所】0164-22-1421 【上川保健所】0166-46-5979 【名寄保健所】01654-3-3121
- 【富良野保健所】0167-23-3161 【留萌保健所】0164-42-8310 【稚内保健所】0162-33-2538
- 【網走保健所】0152-41-0683 【北見保健所】0157-24-4171 【紋別保健所】0158-23-3108

移動後、健康の不安を感じた方は「来道者・帰省者・転勤者相談ダイヤル」011-206-6115

私たちは心臓の治療を 続けています。



当院では、新型コロナウイルス感染症の
院内感染防止のルールを整備しました。
患者様にはこれまでと同様に、診察・
検査・治療を受けていただける準備が
ございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことが
あれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し 続けるための環境整備

- 院内のゾーンニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810

医療法人 札幌ハートセンター
札幌心臓血管クリニック
札幌市東区北49条東16丁目



いま、一人ひとりが
できること。

毎日、大変な状況が続くなか、
医療関係者の方々をはじめ
流通や小売り業に関わる方々など
沢山の人がそれぞれの場所で
力を尽くしてくださっています。

GWを迎え、行きたい場所や会いたい人の
顔がどうしても浮かんでしまいますが、
また、みんなが元気な姿で会えるように。
今は、私たち一人ひとりが、感染拡大
防止に取り組んでいきましょう。

企画制作:北海道新聞社営業局/企画・編集:+ソナエ・プロジェクト
「+ソナエ・プロジェクト」は防災・減災に生活者視点で専門的に取り組むため、
2015年6月に株式会社電通内で発足したプロジェクトです。

おうちの中では

01 換気は1時間に2回程度



換気をこまめに行いましょう。2方向の窓や
ドアを数分間全開にして、風の流れを
つくるのがポイントです。

02 ゴミには直接触れないように



使用後のマスクやティッシュのゴミは
ビニールにしっかりとまとめ、作業の後
には手を洗いましょう。

03 オンラインで会いましょう



帰省や大切な人との会話は、ビデオ通話
を活用してみましょう。会えない今こそ、
こまめに連絡をとってみて。

外に出る場合は

01 人との距離をしっかりとる



人と人の距離を2m以上あけるように
意識しましょう。レジ前の列なども注意が
必要です。

02 引き続きマスクの着用を



会話をするときにはマスクをつけて。また、
電車やエレベータ内での会話はなるべく
慎みましょう。

03 運動中も飛沫感染を防ぐ



散歩やジョギングの際にも人との距離を
十分にとり、マスクなど飛沫感染を防ぐ
ものを着用しましょう。

次の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

【帯広保健所】0155-27-8634

【釧路保健所】0154-65-5811

【根室保健所】0153-23-5161

【中標津保健所】0153-72-2168

移動後、健康の不安を感じた方は「来道者・帰省者・転勤者相談ダイヤル」011-206-6115

私たちは心臓の治療を 続けています。



当院では、新型コロナウイルス感染症の
院内感染防止のルールを整備しました。
患者様にはこれまでと同様に、診察・
検査・治療を受けていただける準備が
ございます。また、24時間、当院の医師が

電話でのお問い合わせに対応しますので、困ったことや不安なことが
あれば、いつでもお問い合わせください。

循環器医療を提供し 続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチーム(感染者対応職員)の選定
- 外来患者の検温(発熱がある場合は完全隔離の専用処置室で診察)
- 発熱のある職員の出勤停止 など

— 心にいつも、オレンジのハート。 —

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 話そう ハート
0120-873-810

医療法人 札幌ハートセンター
札幌心臓血管クリニック
札幌市東区北49条東16丁目